

令和2年度学校経営計画兼学校評価書（スクールマネジメントプラン）

京丹波町立和知中学校

校 訓：自学・誠実・健康

学校教育目標：「将来を展望し、目標達成に向けて自ら挑戦する生徒の育成」

学校経営方針 (中期経営目標)	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点 (短期経営目標)	評 価	
			自 己 評 価	関係者 評 価
<p><めざす生徒像> ①主体的に学ぶ生徒 ②礼儀正しく、誠実な生徒 ③思いやりがあり、心身ともに健康な生徒 ④和知の伝統・文化を大切にし、自然・人・社会とつながる生徒</p> <p><目指す学校像> ①学力向上に努める学校 ②一人ひとりが輝く学校 ③体育的活動や文化的活動に親しみ、活力ある学校 ④地域・保護者から信頼される学校</p> <p><方針> <u>行きたい学校・行かせたい学校づくりに取り組む。</u></p> 1 学びを育む京丹波町メソッドに基づく学力向上を実現する。 2 人権尊重を基盤とした教育活動を推進する。 3 地域の人々とふれあい、地域から学び、地域貢献を大切にする。 4 計画的で内容豊かな研修を通して、教師としての専門性と指導力を高める。 5 小中連携を推進することで、両校の教育水準の向上及び円滑な接続を図る。 6 教職員の健康保持、自己研鑽につながる働き方改革を推進する。	<p><成果> ・学びを育む京丹波町メソッド委員会を中心に授業改善が進んだ。 ・落ち着いた状況で学校生活が送れている。 ・円滑な進路事務ができた。 ・充実した学年間交流ができた。 ・健康管理・安全管理について計画通り実施できた。 ・学校から定期的な情報発信ができた。 ・伝統文化や表現活動で地域に貢献できた。 ・地域貢献活動が充実した。 ・個々の生徒に合った見立てと指導が行えた。 ・道徳の評価方法の研修ができた。 ・利用しやすい図書館運営ができた。</p> <p><課題> ・家庭と連携した家庭学習の定着を図る。 ・入試制度の理解に時間がかかった。 ・今後の小中連携の在り方を検討する。 ・働き方改革の一層の充実が求められる。 ・生徒理解、支援方法、医療連携の工夫を図る。 ・人権教育の系統的な実施計画が必要である。 ・同和教育の視点の活かし方を検討する。 ・情報モラル指導の充実が必要である。 ・グローバル化に対応した取組を検討する。</p> <p>(令和元年度学校評価書より)</p>	1 「京丹波町メソッド」に基づく授業展開を徹底する。 <u>(めあて→学習活動→振り返り)</u>	B	B
		全教科・領域で <u>言語活動に注力</u> する。 ①單元ごとの振り返り等を <u>文章化</u> する。 ②A L型授業を積極的に導入する。 ③ <u>書く機会</u> 、互いの文章を <u>読み合う機会</u> を多く設定する。	B	B
		<u>家庭学習</u> につながる授業づくりを行う。	B	B
		2 <u>差別・いじめを許さない教育</u> を推進するとともに、 <u>多様性を尊重</u> する態度を育む。	B	B
		道徳教育や生徒会活動等の充実を図り、 <u>思いやりの心と自己肯定感</u> を育む。	B	B
		<u>特別支援教育・教育相談の充実</u> を図る。	A	A
3 保護者・地域との信頼関係を大切にし、きめ細かな連携を行う。また、和知人形浄瑠璃・和知太鼓の学習を通して、地域連携を推進するとともに、 <u>ふるさとへの誇りと自信</u> を持たせる。	B	B		
4 全教員で <u>学力・授業力向上</u> に取り組むとともに、 <u>生徒の良さを発見し、生徒の力を伸ばす教師</u> を目指す。	B	B		
5 小中で連携し、伝統文化の学習、授業交流に取り組み、 <u>9年間を見通した教育</u> を推進する。	B	B		
6 <u>超過勤務の短縮と業務の見直し</u> に取り組む。	B	B		